

独立して自由に
働く時間を決められる

「たなちらぼ」歯科技工士

田中千裕さん



歯科技工士は、口腔内の矯正装置をつくる医療技術専門職です。歯科医の指示書にしたがって、入れ歯、歯の被せ物、歯の詰め物、矯正装置などの製作や加工、修理を行っています。高度な精密技工技術とともに、患者さんに合った歯の色や形を考える繊細な審美感覚も求められています。今年6月、矯正装置専門ラボ「たなちらぼ」を独立、開業した田中千裕(ちひろ)さん(27)に仕事の内容についてお聞きしました。

——どんな仕事ですか。

歯科技工士は、歯科衛生士とちがつて、患者さんの口腔内に手をいれることはできません。患者さんの状態に応じて、クラウン（歯の被せ物）、ブリッジ（歯の無いところに歯の形と機能を回復するために橋のようににつなぐもの）、総入れ歯、部分入れ歯、インプラント、矯正装置、マウスガードなどを作っています。

した。技工士のオフィスやクリニック内での職場で、決められてことをするのは避け、医療系ベンチャーリー系の職場を探しました。

そこでは人の健康、心理面などにも対応し、多種多様なマウスピースを製作する会社で、技術職や消費者対応、経理、管理などが多彩な人が集まっています。最新の矯正装置は、価格も自己負担で、自由に決められます。さらに先進的な3Dプリンター技術なども採用していくまし

年2月に退職し矯正装置を

私は矯正装置をメインに作製し、東京都港区芝のビルの一室でラボを開業しています。一人で自由に仕事のスケジュールを組み、納期に間に合わせ、だいたい1日平均約4～5時間、仕事をしています。とにかく自分で働く時間を決められることが気になっていました。

(聞き手・池田知隆)

——卒業後は。
広島県の歯科矯正専門クリニックで院内技工士として1年足らず、働きました。でも、もつと広い世界を知りたいという思いが募って、海外に留学しました。

私自身も歯科矯正をしたこともあり、この学校でなら3年間、楽しく学べそうだな、と感じました。

——専門学校ではいかがでしたか。

周りのみんながとても手先が器用なのでびっくりしました。でも、3年間で安心して学べる学校だったので、基礎から応用までしっかりと技術を身に付けることができました。

歯科技工士の実習風景(東洋医療専門学校提供)



——この仕事の将来性は。

- 歯科技工士になるには
高校卒業後、歯科技工士教育機関に入学し、2年以上学んで必要な知識と技能を習得すると、歯科技工士国家試験の受験資格が得られる。歯科技工士教育機関として2年制、3年制の専門学校や、4年制の大学、2年制の短大、夜間部を設けている学校もあります。
全国統一で実施される国家試験すれば、歯科技工士免許が交付される

○施設概要／「たなちらぼ」
所在地 〒105-0014 東京都港区芝1-15-3 藤ビル402
連絡先 090-8214-7824
メール tanachilabo@gmail.com

(協賛・滋慶学園グループ)

——どうしてこの仕事を選んだのですか。

していますね。女性にとつても働きやすい仕事です。また独立、開業していくには、矯正装置などの注文をとり、納期を守るために競争のなかで多くの人とのつながりを大切にしなくてはなりません。コミュニケーション力も求められますね。

これから手先が器用とか、職人的気質ということよりも、デジタル化が進むことによって、技工の枠を超えてビジネス感覚をもって新しい分野を広げることが求められてくるのではないでしようか。

していますね。女性にとつても働きやすい仕事です。また独立、開業していくには、矯正装置などの注文をとり、納期を守るために競争のなかで多くの人とのつながりを大切にしなくてはなりません。コミュニケーション力も求められますね。

これから手先が器用とか、職人的気質ということよりも、デジタル化が進むことによって、技工の枠を超えてビジネス感覚をもって新しい分野を広げることが求められてくるのではないでしようか。

スペイン中部のトレドです。専門学校時代の海外研修でフランス、イタリアなど欧州各地をまわりました。そのとき、日本というちっぽけな狭い世界に閉じこもつてはいけないな、と強く思い知らされました。その時の海外への憧れが心にずっと残っていたのです。スペインでは語学学校に通い、ホームステイし、日本語をまったく話せない環境で、約半年間、生活しました。現地でいろんな人と交流して楽しかったですね。